

# 女性の視点を生かせる 女性消防

消防団は男性だけの活動の場ではありません。地域に出向き活躍している女性消防を紹介します。

函南町消防団は平成20年から女性消防団を採用し、現在3人の団員が活動しています。町内在住・在勤の18歳以上で防災やボランティアに興味がある人ならどなたでも入団できます。

これまでの団員は年齢層も幅広く、子育て中のお母さんや働き盛りの人など多くの方が活躍してきました。

火災には出動しませんが、急救助の指導や火災予防運動など、地域防災の要として、さまざまな活動があります。



○火災予防運動啓発

11月と3月にあ  
る火災予防運動  
期間中に町内  
スーパ―などで  
街頭啓発を行  
います。



女性消防の活動を  
紹介します！

○応急手当の普及啓発活動

各自治会や小学  
校などに出向き  
AEDや応急手  
当の研修を行い  
救急救命の方法  
を伝えます。



○広報活動

広報紙などの発行や消防団SNSの  
管理などを行います。

○災害時の後方支援

大地震など災害が起こった際に後方  
支援を行います。

# 消防団 応援の店



▲応援の店はこのステッカーが目印です

町内の商店や事業所の皆さんが、応援内容について自ら決めて、できる範囲で函南町消防団の団員や同伴者、その家族に割り引きなどのサービスを提供し、消防団を応援する制度です。

登録する

町のホームページや広報紙などでお店をPRすることができ、函南町消防団員とその家族の利用が期待できます。また、地域貢献企業としてお店のイメージアップにつながります。

申込み

申請書に記入し、総務課に提出してください。申込書は総務課窓口または町ホームページからダウンロードできます。登録完了後、登録済証と消防団応援の店ステッカーをお渡しします。

申込みや登録店舗の確認はこちら  
町ホームページ「消防団応援の店」  
町内 42 店舗 (11月1日時点)

# あなたの力が必要です 新入団員募集中

函南町の消防団員は現在、定員 191 人に対し 164 人 (充足率 85.9%) となっています。

入団は常時可能です。町を守りたい、地域のために活動したい人をお待ちしています。

- 入団資格**  
町内在住・在勤の人、18歳以上45歳未満の人
- 主な待遇**  
年額報酬(数万円程度)や災害活動または訓練に出動した際の出勤手当(1回あたり数千円程度)などが支給されます。また、次のような待遇もあります。
- 公務災害補償  
消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。
  - 退職補償金  
一定期間勤務し退団した際に退職補償金を支給します。
  - 被服の貸与  
消防団活動に必要な被服が貸与されます。
  - 表彰制度  
職務にあたって功労・功績があった場合に表彰します。
  - 免許取得補助  
ポンプ車の運転に必要な準中型自動車免許取得費用の一部を補助します。

## 新入団員に聞きました

### 第1分団

すぎやま しゅうへい  
杉山 周平 さん



函南町に就職し先輩から消防団へ誘われ、同世代を含めいろいろな人と知り合えることを期待し、入団しました。まだ分からないことが多いですが、先輩がマンツーマンで教えてくれます。今は、1日でも早く火災時に活躍できるようポンプ車に乗り込み現場での消火活動を覚えています。

消防団は多少厳しい感じがあると思っていましたが、優しい先輩も多く、町が地元でない自分も団に溶け込むことができました。皆さんも固く考えず入団してもらえればと思います。

## 入団するまでの流れ

1. 総務課 (979-8102) に問い合わせる
2. 入団手続きをするとお住まいの地区を基準に所属分団を決定
3. 分団に手続きが完了すれば「入団」

# 消防団 Q & A

## メリットは事業者にも 消防団協力事業所表示制度



「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力を通して、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。認定を受けた事業所は、表示証を提示できるほか、自社ホームページなどでも広く公表できます。



### 消防署とどう違うの？

消防署は常勤職員(消防職員)が業務に専念するのに対し、消防団員は各自の職業に就きながら災害時などに活動します。



### 災害時にどんな活動をするの？

消火活動や救助活動をはじめ、風水害の際は河川の水位の警戒や土のう積みなどさまざまな災害対応を行います。



### 訓練などはいつ行っているの？

週末や平日の仕事が終わった後に集まり訓練などを行っています。



### 学生でも入団できるの？

条例に定める年齢に応じて入団できます。町では18歳以上を要件としており、大学生・専門学校生の消防団員も活動しています。

